

Alginic acid Industry

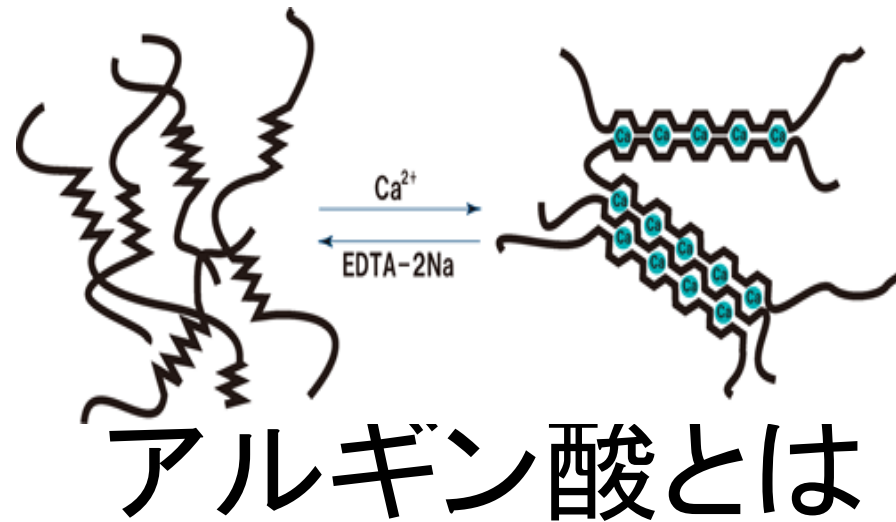


中国コンブ養殖場



米国Jkept 収穫船

- ・ アルギン酸は褐藻類のコンブ科やホンダワラ類の藻体から抽出される海藻多糖類である。アルギン酸は1883年にイギリスで抽出に成功したが、利用分野が広まったのは1950年以後である。現在ではハイドロコロイドとして多種多様なアルギン酸およびその誘導体が食品・医薬品・化粧品・繊維加工その他幅広い用途に活用されています





Alginic acid made with large
brown seaweed, Kelp



巨大海藻・ジャイアントケルプ
米国・カルホルニア沿岸



葉体は数10cmであるが、蔓の長さは数10m



Jainat kelp bed at the coast of California



採取船(500 ton)



Kombu harvertin ship



入港したコンブ採取船



中国コンブ収穫船・養殖場
手摘み



チリ：黒い色の褐藻・打ちあがったものだけを採取する（自然保護ため）



Aliginic acid 抽出工場



[Gel 剤]



球状にも糸状にもなる



增粘剂(Thickener)



染料 (dye), Paint, ink with gel



Pet food , 養殖魚の餌



Gel madetooth shape



Medial capsule



アルギン酸は、化粧品原料として増粘、保水などの目的で利用されています。

「落ちない口紅」にもアルギン酸が配合されており、唇の表面に被膜をつくって、口紅が移るのを防いでいます